7.29

15.8.3
386

添田氏の調停決裂に就て我等の態度を表明す。

添田氏の調停[illegible]成立迄[illegible]困難だと云ふことは、我等が先きに出した争議報告書[illegible]一端を示して置いた。

然[illegible]添田氏の調停を成立せしめるべく、凡ゆる努力をした。

然[illegible]を異は、要するに、雇主三百五拾名に對し参万圓の一解[illegible]以外の問題を語るに足るものがないものであった。我々は添[illegible]会[illegible]意を表する、然し、一寸を俯け、良いことは我[illegible]以上屈辱せしめることではなく。天野を、ホンの一寸譲歩[illegible]譲歩では物足りぬ。我々は出来るだけの譲歩をしたのだから[illegible]天野を御へることであったのだ。

我々は決して自暴自棄になっては居らぬ。

巷間、添田氏の調停決裂によって争議團が悪化するかの如く傳へる者があるが、我々は飽くまでも冷静である。決して自暴自棄になっては居らぬ。添田氏の調停案が到底物になるまいと云ふことは去る二十日初めて案が公然と發表された時からの覺悟であって、我々は決して驚かない。

我々は予定の通り目的に向って進行して居る。目的とは何ぞや!結局争議は解決しなければならぬと云ふことである。然らば如何にして?!

第三の解決運動現はる!!

公然となるのは茲数日のうち!!

問題は双方が譲り合へばよいのである。現在までは、會社だけが云ひたい放だいを云ふておるのだから、會社をして納得せしめさへすればよい。再三云ふ事だが日本には幾多の争議解決の實例があるのだから、世間並の事をすればよいのである。調停者曰く天野には世間並と云ふ事が通用せぬのだから困ると、それでは話にならぬ。世間並のことをせぬから問題が起るのだ!! 世間並のことをせぬと云ふ故は要するに秩序破壊者でないか!!

我々は決して突飛な要求をしておるのではない。現にアノ始末を見ても判るではないか。

今や数日以前より別に有力なる解決者が現われて居るが、未だ我々から公然にすることは出来ぬ。新聞紙に発表されるのは恐らく今明日の中であろう。

最後に警察等に云ふ!! 我々は冷静である。

我々は君等より賢い!! ジタバタせぬことだ!!

大正十五年七月二十九日

日本楽器争議團本部